

(様式5)

三重県立熊野古道センター事業計画書の要旨

申請者名	株式会社 紀南組
管理運営方針	県民の財産を管理する公共性の強い企業として、センターの設置目的に従って施設の効用を最大限に発揮させ、センター利用者および周辺住民に対するサービスの向上及び経費の削減を図り、世界遺産である熊野古道のさらなる魅力を、日本全土及び世界に向けて発信する基地局を創ることが、県民発展につながる事を確信し、民間に期待された知恵を出し合い、創意工夫する努力を惜しまない。 さらに各種法令を遵守し、公序良俗に反することなく、公平で活発な事業活動を行う。また透明性、清潔性を保ち、素直に県や住民の声を取り入れ周辺地域の発展に寄与する。
運營業務に関する計画	周辺地域の人達とセンターの係わり合いを、より一層広く深くする為のイベントやセミナーを企画開催すること、来訪者をリピーターにする為の工夫や企画をすることを重点に、成果目標を達成する為に、ユニークな発想を持って住民・来訪者参加型の情報発信基地局を目指す。
管理業務に関する計画	アンケートや懇話会、各団体との意見交換会を通じ常にサービスの向上を図り、個人情報対策、危機管理対策に留意し、「維持管理要求水準」に照らし、来訪者へのサービスの水準を落とすことなくコストの削減を図ります。
人員配置・組織等	来訪者への対応・情報提供等のサービスを十分に行える人員配置に留意し、臨機応変に対応が出来る組織作りと、「奉仕の精神」を持った、素直で情熱的な人材の育成を目指します。
管理運営上必要とする事項	個人情報対策、危機管理対策、「維持管理要求水準」、ISO14001 など社員教育の徹底を図ると共に管理状況把握の為に、アンケートや懇話会、各団体との意見交換会を開催しサービス向上に役立てる。
成果目標	1、施設稼働率 50% 2、事業参加者数 60,000 人 3、東紀州を舞台にしたイベント 9 回 4、講演会、講習会、体験学習等 108 回 5、企画展 6 回 6、情報誌の発行 4 回、PR ポスターの作成 4 回 7、世界遺産登録地域との連携事業 1 回 8、学校連携事業 6 校 9、利用者満足度 95%
収支計画の積算の考え方	上記成果目標を達成出来ることを前提とし、労働における各法令に準じた労働条件・賃金、各年のベア、事業成長率、経費削減率をベースに地域性を考慮して積算しました。
その他	送迎バスの導入 LED ライトの導入

収 支 計 画 書 (千 円)	年度	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度	2 6 年度	備考	
	収入合計	81,000	81,250	81,500	82,000	82,600		
	内 訳	指定管理料	65,000	64,050	63,000	62,000	61,000	
		施設利用料金	3,000	3,300	3,600	3,900	4,200	
		収入						
		事業収入	12,000	12,600	13,200	13,900	14,600	
	セミナー収入	1,000	1,300	1,700	2,200	2,800		
支出合計	81,000	81,250	81,500	82,000	82,600			